

# 防犯きよみ野

ご用心100号  
令和4年11月

発行 きよみ野防犯連絡協議会  
(きよみ野東西自治会専門委員会)

責任者 佐々木 繁数  
田中 衛

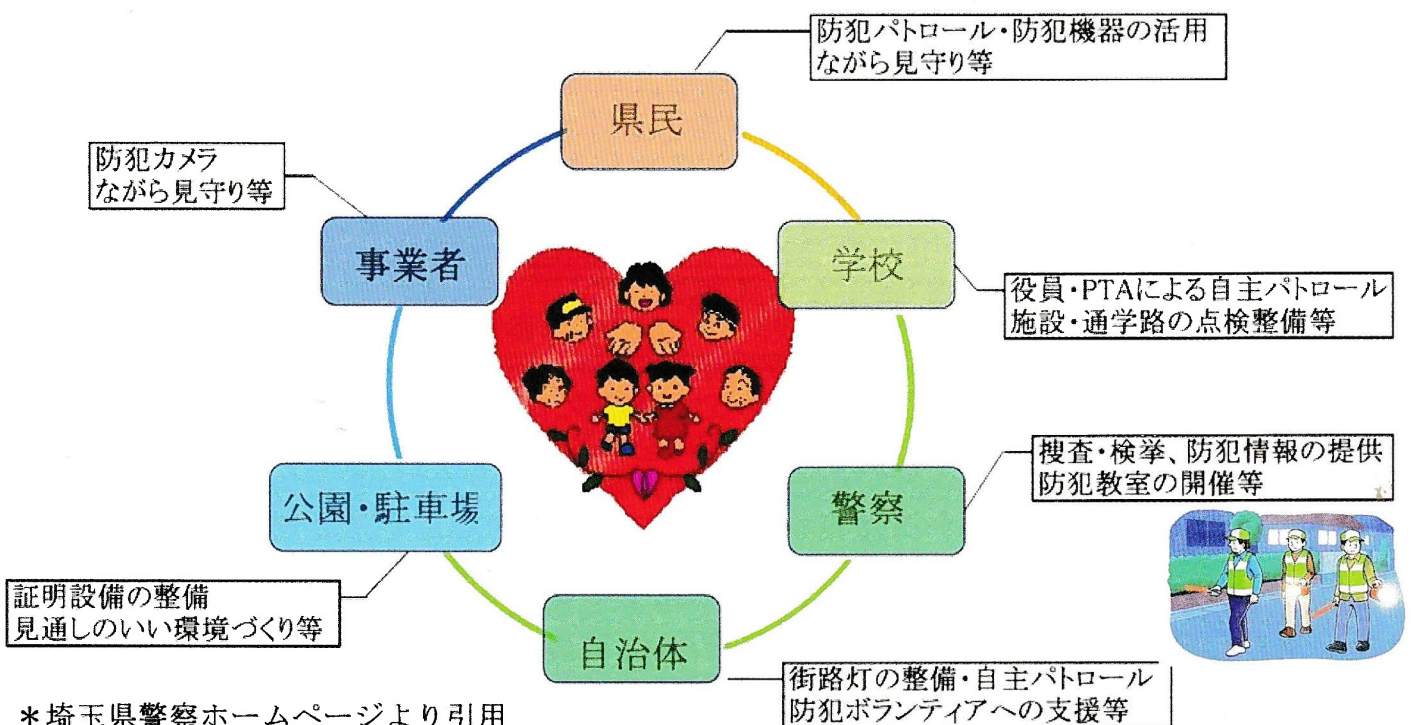
## 広報紙『防犯きよみ野』ご用心100号発行記念

広報紙『防犯きよみ野』の初版発行から現在までの経緯について、裏面に記載しておりますので是非一読願えれば幸いです。

### 『防犯のまちづくり』とは？

「犯罪の機会をつくらせない、与えない」という考え方で、様々な方法で犯罪を起こさせにくい地域環境づくりを行うことです。

安全で安心なまちづくりには、警察も住民も自治体も事業者も、皆で協力して防犯環境を作り上げていくという意識が必要なのです。



\* 埼玉県警察ホームページより引用

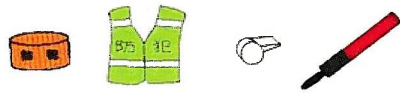


## きよみ野の“防犯事始め”

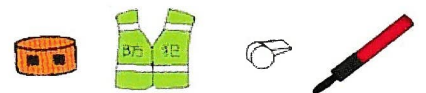


防犯パトロール等の防犯活動は当り前の様に思われていますが、約20年前にきよみ野に防犯活動を立ち上げた時のいきさつ等は、ほとんど知られていないと思います。

そこで、きよみ野防犯連絡協議会の広報紙『防犯きよみ野』第100号の発行に当りきよみ野の防犯活動の始まりについて、当時を振り返ってみたいと思います。



## 活動の“きっかけ”



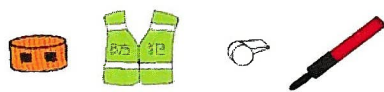
平成16年7月吉川中央自治連合会から、各自治会の判断で自主防犯活動に取り組むようにとの話がありました。活動に必要な用具(ベスト他)は県予算がついたので支給するとのことでした。

きよみ野近隣の自治会(吉川団地、栄町、平沼、本吉川等)は「自分たちの街は自分たちで守る」を合言葉に、すでに防犯パトロールを実施していました。

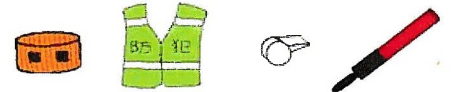
きよみ野では東自治会が役員による防犯パトロールを実施していましたが、きよみ野地域全体としての活動はおこなわれていませんでした。

平成15年、空地の多かったきよみ野は防犯面での空白地域になり兼ねず、不審者がきよみ野に集まって来ないよう抑止することが課題でした。

平成15年のきよみ野では車上狙い、自転車盗、空巣などが91件発生していてほとんどが窃盗犯でした。



## 活動の“立ち上げ”



吉川市や吉川警察署からの自主防犯活動の呼びかけを受けて、当時の東・西自治会長が対応について話し合い東・西自治会合同で進めることになりました。

- \* 自治会員の防犯意識・知識の啓蒙を進めました。  
吉川警察署の協力のもと防犯講演会(約100名参加)を開催しました。  
また、希望する自治会員のお宅を巡回して防犯上の問題箇所を確認する。  
安全点検等をおこないました。
- \* 全自治会員に防犯への協力を呼びかけました。  
回覧により下記A～Eの防犯対策のうち協力できる対策に○印を付けてもらい、延319名の自治会員の方々の協力を得ることが出来ました。

A～Eの防犯対策は可能なものから実施しました。

A 「不審者を見たら110番!!」パネルを自宅に取付ける	121名
B 「防犯パトロール中」のパネルを自転車に取付け	116名
C 「パトロール中」の腕章をして散歩する	53名
D 自治会員有志で実施する防犯パトロールに参加する(注)	24名
E 地域防犯推進委員の委嘱を受ける	5名

注 自治会員有志が母体となって後にクリッパーズが結成されました。

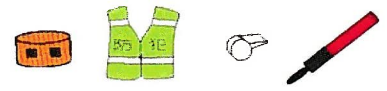
- \* きよみ野くらぶに協力をお願いし、賛同を得ました。  
当時のきよみ野くらぶ会長・副会長に協力をお願いして、きよみ野くらぶ会員の有志の方々に構成する防犯パトロールに協力いただくことになりました。
- \* きよみ野地域全体の防犯パトロールを開始することが出来ました。  
3グループが各々分担して防犯パトロールを実施しました。

東・西自治会役員	夜間・毎月2回実施
きよみ野くらぶ有志	昼間・毎週1回実施
自治会員有志	昼間・毎週1回実施

なお、年末年始など特別期は別途計画して実施しました。



## 活動を“持続させる”ために



東・西自治会合同で自主防犯活動を立ち上げ、H16年12月防犯パトローの開始に漕ぎつけましたが、当時は自治会役員改選の時期も迫っていて、如何にして防犯活動を持続させ定着させていくかが課題でした。

そのため、きよみ野の様々な既存の活動組織と相互に連携し協力していく必要があり、防犯活動について意見交換をおこなう合同連絡会（仮称）を開催しました。きよみ野の様々な活動組織（10組織）の代表の方々に集まっておこなう意見交換を行いました。

合同連絡会を重ねる中で、情報・意見交換の恒久的な場の必要性が話し合われ、きよみ野防犯連絡協議会の発足につながりました。

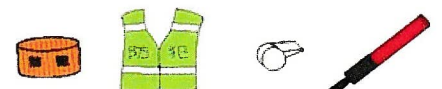
きよみ野防犯連絡協議会は防犯に関する情報の交換・周知、知識の習得、意識の啓蒙、及び活動組織相互の協調・連携を図り、きよみ野の防犯活動を円滑に推進することを目的としています。

PTA（栄小、関小、中央中、東中）、きよみ野子ども会、きよみ野くらぶ、地域防犯推進委員、東・西自治会、自治会員有志の代表25名が参加して、H17年1月きよみ野防犯連絡協議会が設立されました。

その後、平成19年4月東・西自治会の専門委員会として位置づけられ現在に至っています。



## 活動の“これまで”



きよみ野の防犯活動は20年近い歴史を歩んで来たこととなります。

- \* きよみ野防犯連絡協議会の定例会を毎月1回開催し、きよみ野の防犯について意見交換をおこなっています。奇数月に全戸配布している広報紙“防犯きよみ野”は平成18年6月創刊以降、途切れることなく今回第100号を迎えることが出来ました。
- \* 下校時見守りと防犯パトロールは、きよみ野くらぶとクリッパーズの有志によって平成16年以降継続されています。きよみ野のジイジ、バアバの頑張りによりコロナ禍でも途切れることはありませんでした。
- \* 吉川市の違反広告物（はり紙等）除却推進団体、道路里親制度団体に登録しきよみ野の美化・清掃活動を続けています。きれいな街になったと自負していますが、不審者を寄り付かせないよう美化・清掃活動を更に継続します。
- \* 防犯知識・意識の啓蒙を図るため、各種イベント会場で防犯チラシを年間4000枚以上配布してきました。

これまで紆余曲折はありましたがきよみ野の防犯活動は、きよみ野防犯連絡協議会をよりどころに、それなりに継続・定着してきたと思っています。



## 活動の“これから”



今後、きよみ野の防犯活動を更に継続していくには、メンバーの高齢化の問題を解決する必要があります。「地域に見守られて育った子供達が大人になって、きよみ野の安全安心を引き継いでくれるまで続けたいね」とメンバーでは話合っています。

当時7歳だった子供達は今は24歳なので、少なくとも更に10年以上活動を続ける必要があります。しかし、新しいメンバーの参加がほとんど無く先が見通せない状況です。

立ち上げ時のオヤジ達は20年近くたって今はジイジになり、そろそろ今のオヤジ達との世代交代の時期か、と考えたりします。再度、防犯活動の立ち上げ時のように、全自治会員に協力を募る仕切り直しが必要かも知れません。

きよみ野の防犯活動を持続可能にするためにはどうすれば良いか、知恵を出し合う必要があります。多くの自治会員有志の方々の参加を願っています。

# 年末年始における 犯罪被害の防止

## ◆空き巣対策

空き巣被害の主な侵入場所は『窓』であり、ガラスを割られたり、無旋錠の場所から侵入される被害も多く発生しています。

被害を防ぐために、

- ・窓に鍵を2つ以上つける
- ・外出時、就寝時は必ず施錠する
- ・防犯ガラス、防犯フィルム等の防犯グッズを活用する



## ◆特殊詐欺対策

県内では、警察官や金融機関職員などになりすました詐欺犯人から「あなたのキャッシュカードが偽造されている」「キャッシュカードを預かる」「暗証番号を教えて」等の電話により、犯人がキャッシュカードをだまし取る詐欺の被害が多く発生しています。

被害に遭わないため

- ・他人にキャッシュカードを渡さない
- ・暗証番号を教えない



電話機を在宅中も留守番電話に設定して被害を防ぎましょう。

\*埼玉県警察ホームページより引用

## ※※※ 令和4年9月、10月の事件速報(9月1日～10月31日) ※※※

	空き巣 泥棒	自動車等 盗難	車上 狙い	自動車 部品狙い	自動販売 機狙い	路上 強盗	ひったく り	強制 ワイセツ	置き 引き	振り込 め詐欺
吉川市	2(14)	2(22)	3(11)	0(4)	0(0)	0(0)	0(0)	5(9)	0(2)	4(8)
きよみ野 地区	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

( )内は令和4年1月1日以降の累計件数 (吉川警察署クライムウィークリーより)

## ※※※ 「あなた」の力を貸してください! ※※※

毎月、最終日曜日の午後1時から永田公園管理棟に集まって、きよみ野の安全・安心について話し合っています。  
地域参加のきっかけとしてお気軽にお出かけください。